

令和 6 年 1 月 1 5 日

ご門信徒 様

宗教法人 光照寺

住職 濱寄重信

第 2 5 回 『定例法座 ためして仏教！！』ご報告

タイトル「～宗教とは？」

サブタイトル「特に悩みありません。そんな私には、宗教
もお寺も必要ないと思います。宗教やお寺って、
生きている上で本当に必要なもののでしょうか？」

日 時：令和 6 年 1 月 7 日〔日〕 13:30~15:00

場 所：光照寺 齊室

講 師：住職自勤

スケジュール：

1 3 : 3 0 お勤め お焼香

1 4 : 0 0 座談

1 4 : 3 0 座談を受けての法話

1 5 : 0 0 終了



お焼香の様子

座談では、
様々な活発な意見が出ました。私も大変参考になりました。

法話 宗教とは、生きている私のために

WHO の健康の定義が①フィジカル（肉体）②メンタル（精神）③ソーシャル（社会）④スピリチュアル（不条理なことが起こったとき、生きる意味が見出しにくい、その中で何とか生きる意味を見い出し生き抜こうとする力）が健全な状態を健康というそうです。

仏教經典の解釈の中心問題を 5 つの項目であらわしています。名（名称）体（実体）宗（枢要）用（効用）教（指示）、その宗と教を合わせて宗教とされているそうです。

つまり宗教という言葉は、④に関連し、私が生きる上で中枢になり要になるものを指し示すということです。私たち人間がおそらく一番望んでいるの

は、自分自身がこの為に生まれてきた・生きてきた・この親の元に生まれてきたことの、意味や意義を自分の意志で受け止め直して、自分の一生を大事に生きていきたいということではないでしょうか。



法話の様子